

# レタス（結球）「発根力」葉面散布テスト

試験圃場：福岡県久留米市北野町

目的：結球レタス定植圃場にて「発根力」の葉面散布による根の発根・生育への影響を確認、対照区との比較。

植付日 2017年10月19日  
 テスト商品 発根力（根の発根・活着保護剤）  
 施用日 10月31日より1週間間隔で3回      テスト範囲：約6㎡（2坪程）  
 施用方法 500倍にて葉面散布（1回につき希釈液約5ℓ）  
 調査日 2017年12月7日  
 結果 対照区に対し散布区の発根量が多く、生育・結球の進行の優位性が確認された。

## 10月31日定植



10/31 植付 10日経過後。前方にテスト区設定。

## 11月24日、植付から1ヶ月経過後の様子



●対照区



●散布区

使用区では10月31日より1週間間隔で3回発根力500倍液を葉面散布。実際の観察では、使用区のほうが色が濃くツヤがあり大きかった。

## 12月7日、抜き取り調査（定植から50日経過）



12/7 抜き取り調査 左：対照区 右：散布区



●対照区（拡大）



●散布区（拡大）

12/7 植付から約50日経過。結球期に入り抜き取り調査。根の状態を比較した。今回、発根力500倍液の使用は定植後の葉面散布3回。写真の通り対照区と大きく差が確認できた。また、結球の進行も使用区が早く、根からの養水分の吸収力の差と思われる。